

みなさんこんにちは。

私がミニ MBA を受講しようと思ったキッカケは、私自身が人事の育成・採用の責任者を務める中で、漠然とながら将来は経営者になりたい、そのための準備をしたいと思っていたところに案内をいただいたことです。最初は求められる受講者年齢層と少しずれてるかなと思っていたのですが、若手から大ベテランの方まで参加されていて、学ぶ意欲に年齢など関係ないことをあらためて気づかされましたし、自分自身一歩踏み出して良かったと心から思っています。

また、従事している仕事や経験値も関係ないです。自身の過去の経験の棚卸し、あるいは未来のチャンスをつかむための自己投資と考えられると良いと思います。

私がミニ MBA を受講して得た value は以下 3 点です。

①経験×知識が体系化された

大学の時に経済学部や経営学部の授業で理論を学んでも実践していないのでピンと来ていなかった部分もありますが、社会に出て MBA 科目を実践したからこそ、改めて理論を学ぶことで自分の経験×知識が体系化されたと感じています。リカレント教育としても非常に役立つものでした。

何となく組織や会社の慣習、当たり前になっているものが正しいと思いながら日々過ごしてしまいましたが、セオリーを学んだ上で状況に応じて柔軟な対応をしていくことが必要だと改めて感じました。

②自分ごとに置き換えることでよりリアルさが増す

1つ1つの講義を聴きながら自分の会社や仕事に置き換えたなら？と考える、会社のメンバーに学んだ内容を共有する（とてもよい復習になります）、など講義を聴くプラスαのアクションを起こすと学びが増幅されると思います。

③積極的に発言することで学びが増幅する

大住先生は理論と実践に裏打ちされた講義をされるだけでなく、日本社会に対する高い視座からの問題提起もされ、良質な議論を促していただけるので、自分が考えていることを臆せず発信していくことで、学んだことがさらに深まります。もし、これまで発信する機会が少なかったと感じる人は、練習と思って意見を出してみてください。きっと新しい気づきが得られます。（私の場合はこれからの採用の姿について、自社の経営層とディスカッションするような感覚で議論させていただきました）

社会人は準備をしている者にしかチャンスは訪れません。もし少しでも興味をお持ちであれば、一歩踏み出して参加すること、そして参加する以上は継続して出席することをお勧めします。高い志を持った同志が一人でも増えることを願っています。

私の経歴

- 2000年 神戸大学経済学部卒
- 2000年 株式会社NTT データ入社、金融システムの開発に従事
- 2015年 人事本部に異動、人財開発担当、採用担当の責任者を歴任
- 2019年 金融分野全体のグローバル推進するポジションに異動

2019年6月30日記

(naohugol@gmail.com)